

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

---

---

「新編 新しい書写」  
年間指導計画作成資料  
【3年】

---

---

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写 三」(第3学年)年間指導計画

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
4	<p>●おかしな書きぞめ ●書写の学び方 ○毛筆を使って学習しよう</p> <p>・用具のじゅんぴ／用具のかたづけ方 ・書きやすいしせいと、筆記具の持ち方 ・毛筆で書いてみよう ・点画の名前 表紙裏～p.11</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。</p> <p>○毛筆の筆圧と毛筆の穂先の向きについて理解することができる。</p> <p>○基本点画の名称について理解することができる。</p>	3	<p>①1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>②書写の学習の進め方を理解する。</p> <p>③毛筆の用具の置き方・扱い方・かたづけ方を確認する。</p> <p>④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>⑤毛筆でいろいろな線を書き、毛筆の運筆に慣れるとともに、毛筆の学習への関心・意欲を高める。</p> <p>⑥毛筆の筆圧や穂先の向きについて確認する。</p> <p>⑦点画の名称について確認する。</p> <p>⑧自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。</p> <p>○毛筆の筆圧について理解している。</p> <p>○基本点画の名称について理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○硬筆での姿勢や持ち方と比べながら、毛筆での姿勢や持ち方を考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。</p>
5	<p>○「横画」 〈一〉 p.12～13</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○「横画」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	3	<p>①「横画」の書き方の特徴を見つける。</p> <p>【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、「横画」</p> <p>②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。</p> <p>③毛筆の学習を生かして、「横画」の書き方を硬筆に広げる。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○「横画」の書き方を理解している。</p> <p>○「横画」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○「横画」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「横画」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
6	<p>○「たて画」と「点」 〈下〉 p.14～15</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>○「縦画」と「点」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	3	<p>①「縦画」と「点」の書き方の特徴を見つける。</p> <p>【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、「縦画」、「点」</p> <p>②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。</p> <p>③毛筆の学習を生かして、「縦画」と「点」の書き方を硬筆に広げる。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○「縦画」と「点」の書き方を理解している。</p> <p>○「縦画」と「点」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○「縦画」と「点」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「縦画」と「点」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
6 ・ 7	○「おれ」 〈日〉 p.16～17 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○「折れ」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	3	①「折れ」の書き方の特徴を見つける。 【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、「折れ」 ②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。 ③毛筆の学習を生かして、「折れ」の書き方を硬筆に広げる。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○「折れ」の書き方を理解している。 ○「折れ」を正しく書いている。 【思・判・表】 ○「折れ」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「折れ」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ p.18	○筆・和紙・硯・墨の作り方を理解することで、書写学習への意欲を高めることができる。	—	①筆・和紙・硯・墨がどうやって作られているかを知り、書写学習に興味を持つ。	【主】 ○書写用具について知ることを楽しみ、意欲的に知ろうとしている。
9	▼生活に広げよう ・原こう用紙に書こう p.19 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆ほか ★他教科との関連：国語	○既習の文字の整え方を理解し、原稿用紙に書く場面で生かすことができる。	1	①原稿用紙の書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、原稿用紙に文章を丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○既習事項を理解して、文字を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで原稿用紙に書こうとしている。
9	○文字の大きさと 字間 p.20～21 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(イ) 【用具】鉛筆	○漢字と仮名の大きさの関係を理解し、正しく整えて書くことができる。 ○適切な字間をとって書くことを理解し、正しく整えて書くことができる。	1	①漢字と仮名の大きさの整え方を見つける。 【配列】漢字と仮名の大きさ ②漢字と仮名の大きさの整え方を確認する。 ③字間の整え方を見つける。 【配列】字間 ④字間の整え方を確認する。 ⑤漢字と仮名の大きさと字間の整え方に注意して書く。 ⑥自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○漢字と仮名の大きさの関係を理解している。 ○漢字と仮名の大きさを正しく書いている。 ○適切な字間をとって書くことを理解している。 ○字間を正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○漢字と仮名の大きさの整え方を、どのように生かすか考えている。 ○適切な字間の整え方を、どのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、漢字と仮名の大きさや字間に気をつけて、進んで書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
9 ・ 10	○「左はらい」と 「右はらい」 〈人〉 p.22～23 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○「左払い」「右払い」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	3	①「左払い」「右払い」の書き方の特徴を見つける。 【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、「左払い」「右払い」 ②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。 ③毛筆の学習を生かして、「左払い」「右払い」の書き方を硬筆に広げる。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○「左払い」「右払い」の書き方を理解している。 ○「左払い」「右払い」を正しく書いている。 【思・判・表】 ○「左払い」「右払い」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「左払い」「右払い」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。
10 ・ 11	○「曲がり」と「反り」 p.24～25 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○「曲がり」「反り」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	3	①「曲がり」「反り」の書き方の特徴を見つける。 【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、「曲がり」「反り」 ②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。 ③毛筆の学習を生かして、「曲がり」「反り」の書き方を硬筆に広げる。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○「曲がり」「反り」の書き方を理解している。 ○「曲がり」「反り」を正しく書いている。 【思・判・表】 ○「曲がり」「反り」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「曲がり」「反り」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。
11	▼生活に広げよう ・実験したことを記録しよう p.26～27 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・フェルトペンほか ★他教科との関連：理科	○読みやすい実験記録の書き方と既習の文字の整え方を理解し、実験記録を書く場面で生かすことができる。	2	①実験記録の書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、実験記録を丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○読みやすい実験記録の書き方を理解している。 ○文字や行の整え方を理解している。 ○書き方を工夫して、読みやすく書いている。 【思・判・表】 ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで実験記録を書こうとしている。
11 ・ 12	◇文字といっしょに ・名前を書こう(小筆) p.28 ・書きぞめをしよう 〈正月〉〈明るい心〉 p.29～31 p.53～56 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆(小筆)	○小筆の姿勢や持ち方、使い方を理解し、既習事項に気をつけて、自分の名前を丁寧に書くことができる。 ○既習の文字の整え方を理解し、既習事項を生かして、書き初めを丁寧に書くことができる。	4	①小筆の姿勢・持ち方、使い方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項に気をつけて、小筆で自分の名前を丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。 ⑤既習事項を確認する。 ⑥既習事項に気をつけて、書き初めをする。 ⑦自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○小筆の姿勢や持ち方、使い方を理解している。 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで、毛筆を使って名前や書き初めを書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
1	○ひらがな 〈つり〉 p.32～33 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆	○平仮名の書き方を理解し、正しく書くことができる。	2	①平仮名の書き方の特徴を見つける。 【点画の書き方】始筆・送筆・終筆、平仮名の「曲がり」 ②毛筆を使って、①で見つけた書き方を確認する。 ③毛筆の学習を生かして、平仮名の書き方を硬筆に広げる。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○平仮名の書き方を理解している。 ○平仮名の書き方に注意して、正しく書いている。 【思・判・表】 ○平仮名の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、平仮名の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。
1	○筆順の決まり p.34 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア) 【用具】鉛筆（フェルトペン）	○筆順の原則を理解し、正しく書くことができる。	1	①筆順の原則を見つける。 【書くときの動き】筆順 ②筆順の原則に注意して、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○筆順の原則を理解している。 ○筆順の原則に従って、正しく書いている。 【思・判・表】 ○筆順の原則を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順の原則に気をつけて、進んで書こうとしている。
2	○点画の長さ P35 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア) 【用具】鉛筆	○点画の長さの整え方を理解し、正しく書くことができる。	1	①点画の長さの整え方を見つける。 【字形】点画の長さ ②点画の長さの整え方を確認する。 ③点画の長さの整え方に注意して書く。 ④自己評価・相互評価をする。	【知・技】 ○点画の長さの整え方を理解している。 ○点画の長さを正しく整えて書いている。 【思・判・表】 ○点画の長さの整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、点画の長さの整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。
	◇文字といっしょに ・書いて味わおう(俳句) p.36 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語	○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。	—	①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。	【知・技】 ○既習事項を理解して、丁寧に書いている。 【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。 【主】 ○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
2	<b>▼学びを生かそう</b> <b>・三年生のまとめ</b> <b>〈水〉</b> p.37～39 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ)(ウ) 【用具】毛筆・鉛筆 ★他教科との関連：国語	○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。	3	①1年間の既習事項を振り返る。 ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。 ③自分の立てためあてに気をつけて、毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○自分のめあてを持って学習に取り組み、その評価を今後生かそうとしている。
3	<b>▼学びを生かそう</b> <b>・はがきでつたえよう</b> p.40～41 ◎〔知識及び技能〕(3) エ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・フェルトペンほか ★他教科との関連：国語	○読みやすいはがきの書き方と既習事項を理解して、はがきを書く場面で生かすことができる。	2	①はがきの書き方を確認する。 ②既習事項を確認する。 ③既習事項を生かして、はがきを丁寧に書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○読みやすいはがきの書き方を理解している。 ○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○今までの学習を生かして、進んではがきを書こうとしている。